

トイレし尿処理技術選定のためのガイドブックの構成検討（案）

1. 前回のWGでの主な要旨

ガイドブックは、トイレ設置者がトイレし尿処理技術を選定する際に、どのような点に留意して検討すべきかを判断する材料として位置づけられる。

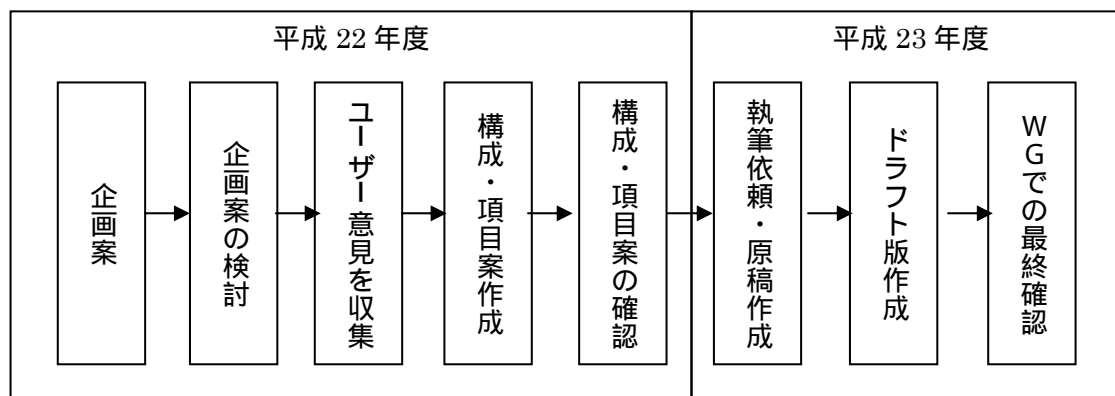
マナーや維持管理がトイレ技術を適正に稼働させるために欠かせないということを含め、盛り込む必要がある。また、技術導入事例をもとに、成果や技術の課題点について情報提供することが望ましい。

2. ガイドブックの作成の目的

トイレ設置者が適正な技術を選択するために、どのような技術があるか、技術選定の際に考慮すべき条件等の留意点をまとめ、事例データベースから詳細情報を確認する際の参考資料として提供する。利用者への普及啓発（マナー等）や維持管理の重要性にも触れる。

最終的には、トイレの整備に携わる人へトイレし尿処理技術に対する選定手順や技術への正しい理解が進むことを目的とする。

3. ガイドブック作成フロー（案）



4. ガイドブックの目次（案）

1. トイレ整備・改善の意義

山岳地等の上下水道や商用電力などのインフラ整備が不十分な、または、浄化槽の処理水の放流先がない自然地域において、トイレを整備・改善することの意義について解説。

2. 整備・改善にあたっての検討フロー

自然地域トイレし尿処理技術の整備・改善に向け、どのような手順で検討を進めるべきかを解説。

3. 自然地域トイレし尿処理技術の概論

自然地域トイレし尿処理の技術とはどのような技術を指すか、実証事業の経緯や第三者が技術実証を行うことの有効性について解説。

4. 各技術タイプの特徴

自然地域トイレし尿処理技術の分類と特徴や性能、技術導入の際の留意点等、実証試験結果報告書（概要版）をもとに要点を解説。

5. 技術導入の際の諸条件について

山小屋でのトイレを導入者の立場から、自然条件、インフラ等社会条件（電気、水、物資輸送）、利用条件（利用変動対策）、管理条件（維持管理）、等導入の際に考慮すべき内容を解説。

6. 自然エネルギーの留意点

山岳地等商用電力の確保が難しい地域において、自然エネルギー利用は有効な手段である。しかし、現状ではトイレ技術と自然エネルギー技術の組み合わせ方法や設計に関する情報が不足している。自然エネルギーの適用可能性と導入の留意点を解説。

7. 設備設計の視点からの留意点

トイレを導入する際は処理技術だけではなく、冬季閉鎖、負荷変動対策、メンテナンス性の考慮、建物、エネルギー等、トータルな視点からシステムとして検討する必要があることを、設備設計の視点から解説。

8. トイレ維持管理の重要性

トイレ技術を良好な状態で性能を発揮するためには、維持管理が重要である。技術導入後において重要な役割を担う維持管理要領書について、試験要領で記載されている確認項目等、維持管理要領書の確認のポイントを解説。し尿処理後には、汚泥の処理・処分などの廃棄物処理の面についても触れる。

また、維持管理体制について、行政と民間の協力のあり方を事例から紹介。

9. <参考> 実証事例紹介

平成 15 年度からの実証済み技術（17 技術）の概略を紹介。